

萩原健一が遺した 傑作インタビュー集

12/17 配本

深作さん、黒澤さんだったり……

そういう凄い、いい時代を乗り切った監督さんとは、

ほとんどやってるんじゃないかな

傷だらけのショーケン = 木暮修を語る

深作欣二／工藤栄一／岸田今日子／大野克夫／井上堯之

今年の目標は『キネマ旬報』の男優賞をとることです 1973.9

映画に賭けてよかった、

悔いはねえ! 1987.11

ショーケン

別れのあとに天使の言葉を

■著者：萩原健一 ■定価：(本体 2,000円+税)

■四六判 / 260 ページ



別れのあとに
天使の言葉を

惜しまれながら2019年3月に他界した萩原健一、ショーケン。ミュージシャンからキャリアをスタートしながら、『傷だらけの天使』をはじめ多数のTVドラマ、映画で俳優として活躍していたことはご存じの通り。神代辰巳、深作欣二、工藤栄一、黒澤明ら著名監督との仕事を通じて研ぎ澄まされていったその俳優論・映画論は、『キネマ旬報』『STUDIO VOICE』に残されたインタビューで生々しく吐露されています。

本書では、そんなショーケンの「映画に関する発言」を1冊にまとめて収録、映画人・ショーケンの姿を明らかにしていきます。また、『STUDIO VOICE』に掲載された深作欣二、工藤栄一、岸田今日子、井上堯之、大野克夫の証言も併録することで、表現者としての萩原健一を立体的に照らし出します。

番線印	タイトル	ご注文数
	<p>【新刊】ショーケン 別れのあとに天使の言葉を</p> <p>定価：(本体2,000円+ 税) ISBN978-4-8456-3443-9</p>	<p>新刊指定締切 12月5日(木)</p> <p>冊</p>